



マップH (両国橋西詰)

「すいか、大根、  
にんじん」

Q2 次の写真の構図を探してみましょう。後者は何を売っているのでしょうか。

Q1 「両国橋西詰」構図に見える橋の名前と、その下を流れる川の名前は何か。

H 江戸一番の盛り場「両国」  
火事が多かった江戸では、火が広がることを防ぐために火除け地という広場が数カ所設けられていました。そこにはやがてお店が立ち並び、たくさんの方が集まるようになりまし。こうして誕生したのが「盛り場」です。両国も江戸を代表する盛り場のひとつでした。

# H 江戸一番の盛り場「両国」

両国橋はとてにぎやか



マップH (両国橋西詰)

「すし そば」  
「ちようちゃんなど」

Q5 左の写真は、屋台で天ぷらを売っている「天ぷら屋」の構図を探してみましょう。

Q4 これからの構図が始まるので、構図を探してみましょう。

Q3 季節はいつでしょうか。



マップA (日本橋)

日本橋を渡ってみよう

Q1 江戸時代の日本橋の長さ、約何メートルだったでしょうか。  
あ 25メートル  
い 51メートル  
う 80メートル

A 江戸のシンボル 日本橋  
江戸東京博物館の常設展示室に入ると大きな橋がかかっています。これは、江戸時代につくられた日本橋の、高さや幅はそのままに、長さを半分にして復元した模型です。日本橋がかかれたのは、江戸に幕府が開かれた1603年(慶長8)のこと。日本橋は、繁栄する江戸の象徴でした。

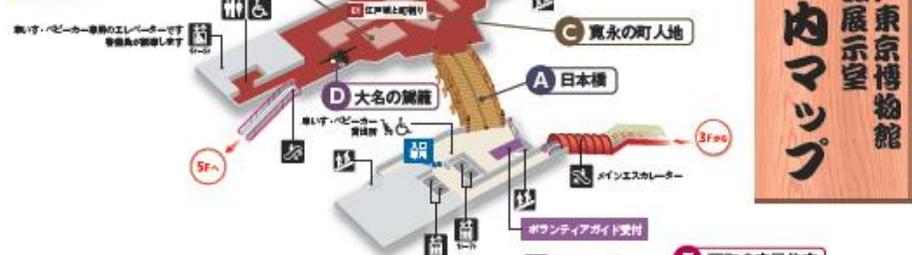
# A 江戸のシンボル 日本橋

Q2 日本橋の名の由来にはいろいろな説がありますが、「諸街道」の起点として、日本の中心と考えられたからではないかといわれています。

Q3 写真の一部が抜けていますが、何という部分でしょうか。

「擬宝珠」  
また、抜けているところに船を描いて橋を完成させましょう。

# 6F



# 江戸東京博物館 常設展示室 案内マップ

# 5F



出口は5Fです。  
よく、千両ちゃん、日本橋の千両屋敷がモデルだよ。



マップB (中村座)

これは構図どおり、幕府が典行を認めさせた証でした。構図にはそれぞれ芝居小屋の座敷が入っていました。

日本橋からみてみよう

# B 芝居小屋・中村座

Q1 日本橋の脇に見える建物は、江戸時代の代表的な歌舞伎の芝居小屋である中村座の正面部分、原寸大で復元した模型です。ここでは、人々が日常を忘れて歌舞伎の世界を楽しみました。禁止の中村座の座敷は、左の三つの中からどれでしょうか。



Q2 この座敷の面構図には、何という文字が書かれていますか。  
中村座  
「きつねとていつて」  
かみ三良

Q3 写真の★印を付した「天水橋」は、中村座だけでなく、江戸の町の建物の屋根に所々設置されています。この橋の中には、何を入っていたのでしょうか。

Q4 またの★印を付したものは、どのような時に使われたのでしょうか。  
「火災があったとき」

- あ 保存食
- い 井戸水
- う 雨水

# C くらべてみよう 大名屋敷と町人地

寛永期の江戸における大名屋敷と町人屋敷には、それぞれ特徴がありました。

**Q1** 模型「寛永の大名屋敷」と模型「寛永の町人地」にある町人屋敷を比べると、どのような違いがあるでしょうか。それぞれ書き出してみましょう。

マップC (寛永の大名屋敷)  
マップC (寛永の町人地)

- ◆住人はだれか… [大名 家族 家臣] [町人]
- ◆建物の大きさ… [大きい] [小さい]
- ◆建物の特徴など… [豪華] [質素] など

**Q2** 左の写真は、模型「寛永の大名屋敷」にある門です。この門の名前は何でしょうか。また、誰が通るための門でしょうか。

この門のあまりの美しさに、町人たちが一日中眺めても飽きなかったので「日暮の門」とも呼ばれました。

マップC (寛永の大名屋敷)  
● [御成門]

◆ [あ] 町人  
◆ [あ] 大名  
◆ [あ] 將軍

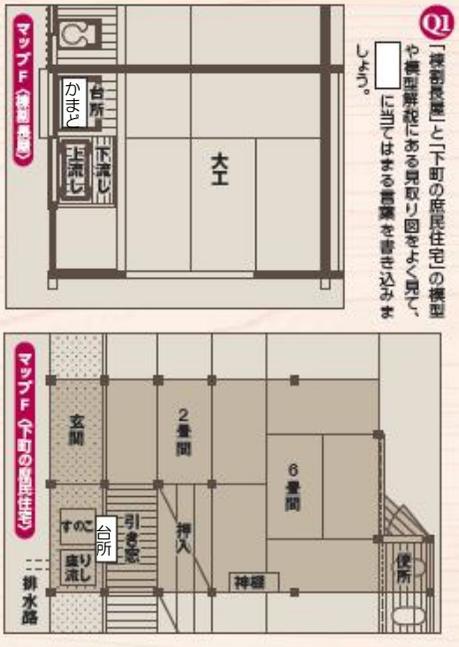
**Q3** 17世紀はじめ頃、江戸の町には難田時代の面影を残す豪華な屋敷が数多くありましたが、これらは大火によって消失し、その後には再建されませんでした。この大火とはどのような大火でしょうか。

17世紀はじめ頃、江戸の町には難田時代の面影を残す豪華な屋敷が数多くありましたが、これらは大火によって消失し、その後には再建されませんでした。この大火とはどのような大火でしょうか。

◆ [あ] 明暦の大火 (1657年・明暦3)  
◆ [あ] 八百屋お七の火事 (1683年・天和2)  
◆ [あ] 関東大震災 (1923年・大正12)

# F 江戸住まいの拝見

ガスや電気がなかった時代、人々はどのような生活を送っていたのでしょうか。また、暮らしのスタイルはどのように変わっていったのでしょうか。江戸時代の町人が住んでいた「棟別長屋」模型(江戸ゾーン)と、昭和初期の「下町の庶民住宅」模型(東京ゾーン)をくらべてみましょう。



くらべてみよう  
庶民生活の今昔

# D 大名駕籠に乗って

参勤交代によって全国の大名は、江戸にも屋敷をつくり、国元との間を往復することになりました。車も電車もない時代、全国の大名たちは駕籠に乗って江戸にやってきました。この駕籠は、美作国津山藩(現在の岡山県)の藩主が実際に使った駕籠から複製したものです。

マップD (大名の駕籠)

Q1 駕籠は何人でかついたのでしょうか。  
[ 4 人 ]

Q2 駕籠の重さは、およそいくらか。  
[ 30 kg ] [ 60 kg ] [ 100 kg ]

Q3 参勤交代は、どのような目的を果たしたのでしょうか。当てはまるものを全て選びましょう。  
[ う ] 参勤交代は、大名にたくさんのお金を使わせる。  
[ い ] 参勤交代は、参勤交代によって江戸の街はどのように変化していったか。正しくないものを選びましょう。  
[ あ ] 参勤交代は、大名屋敷が増えた人口が増えた。参勤交代は、参勤交代によって江戸の街はどのように変化していったか。正しくないものを選びましょう。

Q4 参勤交代は、参勤交代によって江戸の街はどのように変化していったか。正しくないものを選びましょう。

# E 体験しよう！ 纏



Q1 纏は町火消48組のシンボルとして、火事場では必ず掛けられました。この纏は何組のものでしょうか。  
[ す 組 ]

Q2 江戸時代野菜を作るための大切な肥料として主に何が利用されていたのでしょうか。  
[ 排泄物 ]

Q3 江戸時代のお金には、金・銀・銅の三種銅がありましたが、千両箱は小判を入れるための箱です。箱が3kgだとすると、小判1000枚は何kgになるでしょうか。  
[ およそ 11kg ]

マップE (千両箱)  
マップE (肥料)

# G 百貨店の前身 三井越後屋

新しい商人のスタイルを見てみよう

Q1 左の図はお店の看板のマークを抜き、□に当てはまる文字を記入しましょう。

Q2 三井越後屋で売られていたものは何でしょうか。

Q3 店の中ではどんな会話がやりとりされているのでしょうか。左のシーンに当てはまる会話を想像し入れてみましょう。



- 三井越後屋は伊勢松坂(現在の三重県)の商人の子三井高利が1673年(延宝1)、江戸に開いたお店で、現在の三越百貨店の前身です。商売上手だった彼は江戸一番の大人人になりました。
- Q1 左の図はお店の看板のマークを抜き、□に当てはまる文字を記入しましょう。
- Q2 三井越後屋で売られていたものは何でしょうか。
- Q3 店の中ではどんな会話がやりとりされているのでしょうか。左のシーンに当てはまる会話を想像し入れてみましょう。

